✦あなたが会員になれば✦

- 「ニュースレター」をお送りします。
- 講演会で研究成果を発表することができます。
- 「ニュースレター」、「学会誌」に投稿することができます。
- 学会行事や関連学会との共催行事に参加できます。

年　会　費

正会員	6,000 円
学生会員	3,000 円
維持会員	30,000 円

✦ご入会について✦

キリトリ線

日本技術史教育学会へ入会します

年　月　日

ご氏名
ご住所　〒　　－ TEL：　　／FAX： E-MAIL:

事務局へ郵送または FAX でお送りください

表紙の解説：ボウルトンのラップエンジン用として描かれたワットの遠心調速機の図面。1788 年 12 月１３日に完成した。製図したのはスーザンである。

技術史教育学会

JSEHT

デザイン：川上顕治郎氏

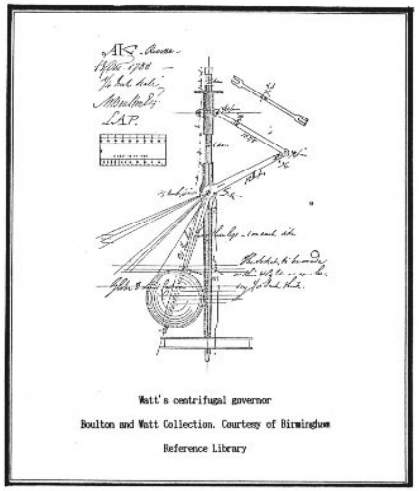
http://homepage3.nifty.com/jseht/index.htm

日本技術史教育学会事務局

〒113-0034
東京都文京区湯島１－１２－５小安ビル６F
株式会社プラス・ワン気付
TEL／FAX：03-3835-2494

会　長　：牛山　泉
事務局長　：中村純一（株式会社プラス・ワン）
E-MAIL　：　jseht@nifty.com

日本技術史教育学会
入会のご案内



Watt's centrifugal governor
Boulton and Watt Collection. Courtesy of Birmingham Reference Library

Japan Society of Education for History of Technology

日本技術史教育学会について

目　　的

日本技術史教育学会は技術史による教育を教育の重要な新分野として位置づけ、それを実現するための理論的研究や教育実践を通して教材の開発などを広い視点から考究することを目的としています。

会　　員

会員数は現在約１２０名で活動しています。会員は理工系教職員に限らず、文科系も含め広範囲の分野の人によって構成されています。したがって会員は、大学、高専、短大などの教職員、各種研究機関・博物館などの職員、小・中・高等学校の教職員、民間企業の技術者、その他多分野の専門家が所属しています。

事　　業

本学会では、研究会、講演会の企画・開催、学会誌、講演論文集、ニュースレターの編集・発行のほか、インターネットで技術史教育普及のための広報活動を行っています。その主な実施状況は次の通りです。

A. 出　版

①「ニュースレター」の発行

年４回、会員へお届けしております。研究会などの行事のほか、技術史教育に関する論説、研究ノートなどを掲載しています。

②「講演論文集」の発行

年２回開催される研究講演発表を収録しています。

③学会誌の発行

学会誌は、研究論文、実践論文、資料などから構成されています。論文については、校閲者に審査を依頼し、その結果により、編集委員会で掲載の可否が決定されます。

B. 行　事

① 研究発表講演会の開催

春と秋の年２回開催しています。春は首都圏の会場で総会とあわせて開かれ、秋は全国大会として、見学会とあわせて各地で開催しています。

② セミナー等の開催

会員がテーマ別に学習・研究する機会として随時に企画開催されます。

③ パネルディスカッション、シンポジウム、座談会などの開催

技術史教育に関する様々なテーマを取りあげ研究を深めていきます。

C. 広報活動

① インターネットによる活動

学会ではホームページを通して、広く一般の方々にも技術史教育の情報を提供しています。また日々更新し、より新しい情報を会員の皆様に提供できるようにしています。

② ホームページによる情報提供

会員にはホームページにより技術史教育に関する話題や情報を提供しています。

組　　織

本学会は、理事会により運営が行われています。重要事項は正会員による総会で決められます。